

みなみいせ



33号

2015.5.1

議会だより

おめでとう!



4月に開園した統合保育園（南島西中学校跡）

主な内容

- 平成27年 第1回
3月定例会…………… 2～3
一般質問…………… 4～15
中学生議員町政を問う!! …… 16～17
みんなのつぶやき…… 18～19
みんなでやっとなるで～ ほか…… 20

発行／三重県南伊勢町議会
〒516-0194 三重県度会郡南伊勢町五ヶ所浦3057
編集／議会広報特別委員会

平成27年第1回定例会

議案

平成27年3月3日から24日までの22日間の会期で、3月定例会が開催されました。

平成27年度当初予算案9件、平成26年度補正予算案9件、平成27年度補正予算案1件、条例の制定・改正案21件、指定管理者の指定案6件、工事請負契約の変更案1件、工事請負契約の締結案1件、財産の譲渡案3件、その他の議案4件、同意1件、請願1件、発議2件が審議され、原案どおり可決・承認されました。

また、常任委員会に付託された平成27年度各当初予算は、委員長報告を受け、可決となりました。

一般質問では、議員12人が質問を行いました。

平成26年度南伊勢町一般会計補正予算（第8号）

平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

平成26年度南伊勢町介護保険特別会計補正予算（第4号）

平成26年度南伊勢町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

平成26年度戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算（第3号）

平成26年度南伊勢町下水道事業特別会計補正予算（第4号）

平成26年度南伊勢町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）

平成26年度南伊勢町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）

平成26年度南伊勢町下水道事業会計補正予算（第3号）

平成27年度南伊勢町一般会計予算

平成27年度南伊勢町国民健康保険特別会計予算

平成27年度南伊勢町介護保険特別会計予算

平成27年度南伊勢町後期高齢者医療特別会計予算

平成27年度南伊勢町戸別合併処理浄化槽事業特別会計予算

平成27年度南伊勢町下水道事業特別会計予算

平成27年度南伊勢町簡易水道事業特別会計予算

平成27年度南伊勢町下水道事業会計予算

平成27年度南伊勢町病院事業会計予算

平成26年度南伊勢町一般会計補正予算（第9号）

平成27年度南伊勢町一般会計補正予算（第1号）

南伊勢町広告式条例の一部を改正する条例

南伊勢町議会委員会委員条例の一部を改正する条例

南伊勢町選挙管理委員会及び議会等の要求により出頭した者等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例

南伊勢町特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例

南伊勢町教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例

南伊勢町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例を廃止する条例

南伊勢町職員の退職管理に関する条例

南伊勢町税条例の一部を改正する条例

南伊勢町保育の必要性の認定に関する基準を定める条例

南伊勢町保育所条例の一部を改正する条例

南伊勢町介護保険条例の一部を改正する条例

南伊勢町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例

南伊勢町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

南伊勢町指定地域密着型介護サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

南伊勢町指定地域密着型介護サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

南伊勢町指定地域密着型介護サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

南伊勢町指定地域密着型介護サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

●南伊勢町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例

全員賛成

●南伊勢町急傾斜地崩壊対策事業の分担金条例の一部を改正する条例

全員賛成

●南伊勢町自治功労者褒章条例の一部を改正する条例

全員賛成

●南伊勢町長及び副町長の給料及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例

全員賛成

●南伊勢町長職務執行者の給与及び旅費に関する条例を廃止する条例

全員賛成

●南伊勢町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

全員賛成

●指定管理者の指定について（6件）

全員賛成

●工事請負契約の変更に
ついて

全員賛成

●工事請負契約の締結について

全員賛成

●町道路線の認定について

全員賛成

●財産の譲与について（3件）

全員賛成

●字の区域の変更について

全員賛成

●南伊勢町過疎地域自立促進計画の変更について

全員賛成

●伊勢市との定住自立圏形成協定の変更について

全員賛成

同意

●副町長の選任について
矢野 次男

全員賛成

請願

●ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願書

全員賛成

発議

●ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

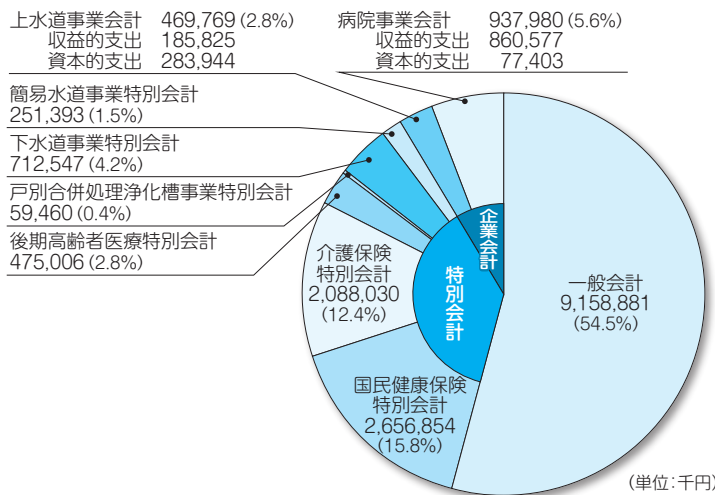
全員賛成

●2016年主要国首脳会議の三重県開催を求める決議案

全員賛成

平成27年度全体予算

総額 168億992万円

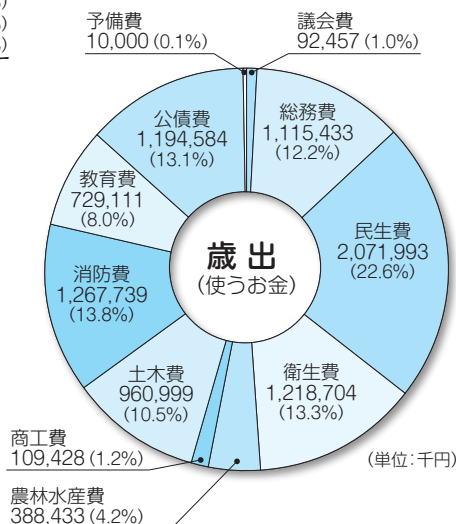
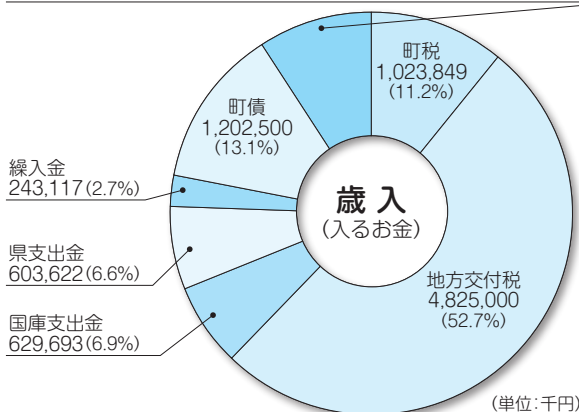


平成27年度一般会計予算

合計

歳入 91億5,888万1千円
歳出 91億5,888万1千円

地方譲与税	74,001 (0.8%)	財産収入	15,621 (0.2%)
利子割交付金	3,000 (0.1%未満)	寄附金	36,500 (0.4%)
配当割交付金	3,000 (0.1%未満)	繰越金	50,000 (0.5%)
株式等譲渡所得割交付金	2,000 (0.1%未満)	諸収入	112,203 (1.2%)
地方消費税交付金	220,000 (2.4%)		
自動車取得税交付金	15,001 (0.2%)		
地方特例交付金	1,100 (0.1%未満)		
交通安全対策特別交付金	1,000 (0.1%未満)		
分担金及び負担金	43,151 (0.5%)		
使用料及び手数料	54,523 (0.6%)		



支援体制は

相談支援を開始 町長



掛橋 靖 議員

問 介護制度の対象となる前の高齢者などへの日頃の支援体制は。

答 町長 25年度・26年度と65歳以上の方全員を対象に町民包括調査を実施し、約60%の方から回答をいただいた。回答内容から気になる点が見受けられる方と、無回答の方で、特に一人暮らしの方については、訪問し、生活の様子を伺っている。これまでに1,217人を訪問し、そのうち60名の方を包括支援センターにつなぎ、専門職による相談支援を開始した。

問 高齢者向けの生活全般に関わる「分かりやすい暮らしの手引き」や「ハンドブック」が必要では。

答 町長 もちろん必要である。手引書などに限らず高齢者へのお知らせなどは字を大きく、分かりやすい表現にする必要がある。また、訪問や相談時には資料を提示しての説明も必要かと思う。



いつまでもいきいきと

今求められていることは

命を大切にする 教育長

問 子どもたちの「生きる力」「育つ力」について、学校・家庭・地域に、今、求められていることは。

ということ。「自分の命も他の人の命も大切である。」という心情を育むことが教育の根幹になればならない。

答 教育長 教育において、最も重要なことは「命を大切にする」

その他の質問

● ふるさと納税について



まちの宝



河村健志 議員

配水池は浸水しないか

すべて浸水しない 町長

問 国・県から津波浸水想定が発表されているが、そのどちらにも浸水しない場所にある配水池と水源池は何か所か。

答 町長 配水池は19か所あり、すべて浸水しない場所に建設されている。水源池は15か所で、そのうち3か所が浸水想定区域外にある。

問 耐震補強、緊急遮断弁が整備されている配水池・水源池は。

答 町長 耐震補強済みの配水池は5か所、水源池も5か所。また、緊急遮断弁の設置済みの配水池は1か所となっている。



高台にある配水池

問 風水害時における長時間の停電に対する上下水道課としての対策は。

答 町長 水道施設については、停電により各水源池のポンプが停止すると、高所設置の配水池への送水が不可能になることにより、各家

庭への給水ができない状況となる。発動発電機や可搬式発動発電機を準備しておくことで電力供給して断水に対応する。

停電対策は

発動発電機にて対処 町長



有事に活躍

照明の整備は

県へ要望していく 建設課長



手塚 征男 議員

は。問

国道260号のトンネル照明の整備

答

建設課長 国道260号には、20本のトンネルがあり、うち3本で照明施設が未整備である。安全確保のためにも新設・更新などを県に要望していく。



安全な交通を

看板の設置は

考えていく 建設課長

問

国道沿い集落の一次避難場所表示看板の設置を。

答

建設課長 避難誘導シールや看板を作成し、設置しているが、まだまだ少ない状況であり、今後も各地区と相談しながら考えていく。

その他の質問

- 南島西中学校の跡地利用について
- 南島分署跡地利用について
- 愛洲の館の重大事故について



命を守るために



倉田 育 議員

団員の装具は

全団員に支給 防災課長

問

消防団員の装具やヘルメットなどの耐久性と、活動服・安全靴の支給状況は。

答

防災課長 活動服・安全靴は、18年度に全団員に支給。また、新入団員については入団時に支給している。ヘルメットの耐久性は3年以内に交換となつていますが、これは法的な設定でなく目安のため、団員自ら日頃の点検を行い安全に使用するように指導している。



身の安全を

若者定住対策は

推進中である 町長

問

若者定住対策係創設から1年が経過したが、26年度の成果と今後の計画は。

答

町長 著しい人口減少と地域の活力低下を最大の課題としてとらえ、若者定住対策をまちづくりの中心的施策として位置づけている。



地域の絆を高める

役場全体で取り組む総合政策として各課が取組を推進する中、若者定住促進事業の把握・進捗について管理している。

定住・移住を勧める「空き家バンク制度」や、若者の居場所づくりとして町民とともに星空観察会などのイベントなどに取り組み「南伊勢ええやんプロジェクト」、「集落支援モデル構築事業」の実

施、「南伊勢高校SBP」などの取組を進めている。今後は新たに、地域おこし協力隊制度を活用し、地域資源を活かした地域おこし支援や、地域協力活動をいただきながら、その地域への定住を図っていく取組を行う。

その他の質問

●27年度の教育方針について

工期は

心配面もある 町長



松葉和久 議員

問

南島バイパス・木谷バイパスの開通時期は。また、船越バイパス・藤坂峠の進捗状況は。

答

町長 南島・木谷両バイパスは平成27年度末の開通を目指して工事が進行中である。しかしながら、南島バイパスについては現場条件や工事量の多さから、年度内の完成が心配されている。船越バイパスについては、現在、測量と地質調査・詳細設計が進められており、27年度中に地区への事業概要の説明、用地測量、建物調査を実施し、28年度から用地等の補償へ進む予定。藤坂峠は現在、事業化の目途はたっていないが、災害時の重要な路線と考え、県に要望を行っている。



待ち望んだ錦峠開通

災害査定は

全て採択 建設課長

問

過去5年間の公共土木施設災害件数と採択率は。

答

建設課長 22年度から26年度までは、申請に対して全件が採択されている。ただし24年度は災害がなく、申請0件となった。申請件数は、22年度14件、23年度14件、25年度6件、26年度10件で、金額の採択率は、22年度83.2%、23年度93.4%、25年度98.5%、26年度100%となっている。



迅速な復旧を



岡本 眞 議員

地方創生について

総合戦略に基づく施策を 町長

問 今度の地方創生は大きな危機感を持って取り組む必要があります、地域はその特色を生かした独創的なまちづくりをする必要があると考えるが。

答 町長 このたびの地方創生総合戦略は、「国土強靱化計画」「絆プラン」と方向性を同一とし、将来に向かって安全で安心して希望をもつて暮らしていけるまちづくり、地域を大切にし、町内外に自信を持って誇れるまちづくりを進めていくための戦略としていきたい。



働く場所の充実を

問 急激な人口減少が進む中で、地域創生・地域づくりにおいては、教育の果す役割が大きいと考える。未来を託す子どもたちのために何をしなければならぬのか。

答 教育長 学校教育においては、各教科、総合的な学習の時間、特別活動などにおける学習活動を相互に関連づけている。学校の教育活動全体を通じて、地域の自然・文化・歴史・産業・人材など、身近な教育資源を積極的に活用した郷土教育の推進を図っていく。また、地域においては、『みなみいせ図書館』『なんとうふれあい図書館』を充実させ、子どもたちが活用しやすくするほか、「人蔵」の活用、地域の人材を教育に活かしていく取組を進めていく。

子どもたちのために

連携した教育を進める 教育長



学校・家庭・地域の連携

アワビやマグロを

今後検討したい 町長



山本芳隆 議員

問 「ふるさと納税」は、特色ある返礼品などにより、頑張れば集まる制度と感じたが、当町の特典品、事業に対する寄付などの現在の状況は。



魅力的な特産品を

答 町長 現在は17業者から47品目の出品をしていただいている。今後、年間を通して提供できる特典品も多く作っていききたい。
観光として来ていただける商品、また「南伊勢町」を応援したくなるような、当町ならではの特典品を作っていく必要がある。

心配の声が…

経営状況を注視していく 町長

問 介護サービス料金の改定率は全体で2.27%減と閣議決定され、介護職員の人数やサービスの軽減が心配されるが。

答 町長 介護人材の安定的な確保を図り、更なる資質向上へ取り組みなど、介護保険制度の持続性を高めるためのものと聞いている。

事業者の皆さまにとっては、厳しい事業運営になるかと思うが、地域包括ケアの実現に向けてご尽力を賜るようお願いしていく。



経営改善の勉強会にも積極的に参加



澤村圭也 議員

ヘリポートの数は

13か所が登録 町長

問 高齢化率の高い当町においては、救急車の利用も多いが、最近ではドクターヘリの要請が増えている。町内各地に専用のヘリポートを作るべきではないかと考えるが。

答 町長 当町では南島メデイカルセンターのような「舗装された離着陸場」は将来3か所とする予定だが、できるだけ早く医師の治療を開始する必要があることから、救急要請があった

場所から近い場合外離着陸場で救急車とドクターヘリが合流している。また、今年2月25日に移転した紀勢地区広域消防組合南島分署に作っているヘリポートの許可が下りれば14か所になる。



一秒でも早く

景観に配慮を

県へ要望 町長

問 国道260号線の景観を損なう海側の立木を伐採したら海の景色が見え、道路自体が観光地になるのではないかと。当町の木は「桜」であり、周りの木々を切るべきと考えるが。

答 町長 桜の管理を目的としたものではないが、町内の皆さまで組織する「南伊勢町の路さくら活動隊」のボランティア活動により、260号線沿いの桜の剪定や雑木の枝払いなどを行っていた。

今後は、県が立木の枝払いを行う際には桜周りの枝払いにも配慮してもらうよう要望していく。



人気のドライブコースに

利用計画は

年間計画を作成 福祉課長



山本周也 議員

問 27年度から障がい者福祉サービスを利用する方について、サービス支給決定時には必ず利用計画が必要となる。

利用計画作成に関する体制と運営は。

答 福祉課長 福祉課・障がい福祉担当と相談支援専門員、社協、

度会広域連合などが連携してサービス利用者全員について年間計画を立てている。

また、利用者ひとりひとりの状況が異なるため、毎月部会を開催して進捗状況を確認しあいながら進めていく。



就労支援にも力を

町立病院経営ビジョンは

3月末には 町長

問 南伊勢町絆プラン後期計画(素案)に町立病院の経営健全化とあるが、経営健全化ビジョンはいつ発表するのか。

また、医師の増員は努力目標なのか、達成しなければならぬことなのか。

答 町長 具体的にどのよう

達成しなければならない目標ととらえている。

いくかなどについて、町立病院経営ビジョンを策定することとしている。3月末には完成予定なので早急に公表していく。医師の増員は収支のバランスを勘案しながら、

その他の質問

- 地方創生地方版総合戦略と人口ビジョンの策定について
- 第6期介護保険基準額の決定過程について



頼れる病院を



田中喜一郎 議員

誘客活動は

関係市町と連携 町長

問 今年は何制10周年であり、伊勢志摩国立公園制定70周年にもあたる。

県知事も主要国首脳会議を伊勢志摩地域に誘致する方針を表明したなか、この機会をとらえて戦略的に誘客活動を行うべきと考えるが、行政の具体的計画は。

答 **町長** 伊勢志摩地域での大きなイベントなど、当町にとっても戦略的視野にたった観光をはじめとする諸施策

の展開は、重要な視点だと認識している。開催が決定された暁には、関係市町と連携し観光商工PRに取り組んでいきたい。



郷土愛を育て「地域愛」UP!

今後の計画は

円滑に実施 管財営繕課長

問 27年度予算を見るのと「地籍調査」にかかる予算のほとんどが国・県の支出金であり、当町の持ち出し分も、交付税措置がされるということであった。

今後の調査はスピードを上げて進められると思うが、次年度からの予算規模と今後の計画は。

答 **管財営繕課長** 参考として、27年度の三重県全体の予算額は2億4千万円で、事業実施している24市町に内容に応じて配分されると聞いている。

当町としては県の事業補助金を利用し、事業区域の設定や状況の把握をしたうえで、地籍調査着



将来の不安を軽減する第一歩

手前には所有者や法務局など関係機関と調整するなどし、地籍調査を円滑に実施していく。

その他の質問

- ふるさと納税について
- 教育理念について

どうなる農業政策

有効な制度の活用を 町長



東 伊久雄 議員

問

新たな農業政策である「中間管理機構」、「経営所得安定対策」、「水田フル活用と米政策の見直し」、「日本型直接支払い制度」の事業内容と当町での実績及び成果は。また、新年度の計画は。

答

町長 中間管理事業は、農地中間管理機構が農家から農地を借り受け、経営の効率化や規模拡大を進める制度。経営所得安定対策事業は、販売価格が生産費を下回っている作物に対し、その差額を交付する事業であり、当町では当年度、182名の農家に対し交付金を支払っている。水

田フル活用と米政策は、水田で麦・大豆などの作物を生産する農業者に対して交付金を交付する制度。日本型直接支払い制度は、地域や営農組織が農地法面の草刈や水路の泥上げなどの保全活動や農地・水路・農道などの補修など活動組織に対して交付金を支払う制度となっている。



美しい米づくり

問

閉校となった学校などの施設の跡地利用について、各校区にて検討委員会による報告書が提出されてから6か月が経過するが、現在の進捗状況は。

答

教育委員会事務局長 旧宿田曾小学校は、地元や団体などとの協議は済んでいる。

旧穂原小学校は、社会福祉協議会、福祉団体、地元の食品加工団体の3団体と協議中。旧南海小

地元との協議は

進めている 教育委員会事務局長



閉校になった穂原小学校

用福祉施設などの誘致を検討中。旧南島西中学校では、二次避難施設としての防災用品の備蓄場所として、各区長と協議中で、社会福祉協議会と特定非営利活動法人についても、協議を進めている。



岡田和夫 議員

老健施設は

要らない 町長

問

介護保険事業計画策定にあたり、老健施設及び地域包括ケアについて、介護保険計画策定委員会ではどう議論されたのか。

答

町長 当町なりの実情を踏まえた地域包括ケアシステムを進めるということについては、策定委員会でも合意され計画にも明記される予定。また、地域包括ケアを進めていくにあたり、委員会で老健施設についても議論していただいたが、結果、施設整備は特養の30床増床以外必要ないという意見でまとまった。

通院問題は

利便性に配慮 町長

問

「町立南伊勢病院経営計画提案書」について得るものがあつたのか。また病院を高台に移転させた場合の通院に関する記載はないが。

答

町長 この計画を策定するにあたっては、病院側とも綿密に議論をしながら完成させた。また、経営分析によ

る収支シミュレーションなど多くの情報の提供を受けるとともに、外部専門家から見た様々な指摘もいただいている。通院問題に関しては、「送迎バスなどの病院までのアクセスの確保を図るとともに、利便性の向上に十分配慮します。」との一文を入れている。



えがおで手遊び体操

移設は

早期は困難 副町長

問

災害時、電力の確保が重要だが、浸水が予測される中部電力の五ヶ所変電所の移設要請は。

答

副町長 24年度に被災後電力供給の早期復旧ができるよう五ヶ所変電所及び南島変電所について高台に移転要望を行っている。

現時点では、当町内の変電施設については、早期移設は難しいとのこと。



でんきのあした

町政を問う!!

2月6日南勢庁舎議場において、南勢・南島中学校の1年生計91人が参加して、町に質問する「南伊勢町中学生議会」が行われました。

この中学生議会は南伊勢町の将来を担う生徒たちに議会の仕組みを理解し、町の現状や未来を考えてもらおうと、町教委と町議会が初開催しました。

代表の生徒たちは、町議会議員等が傍聴する中、町執行部に対し、防災対策などについて、鋭い質問をぶつけました。その一部をお知らせします。



路線バスの数を増やして

問 路線バス以外に交通手段がない子どもや高齢者にとって、利用したいと思った時に運行していないと不便なので、昼・夕方の路線バスの数を増やすことはできませんか。

答 環境生活課長 町営バスなどの路線バスの運行ダイヤは、一日を通しての時間帯による利用人数や利便性を勘案し決定しています。すべての利用者に対応した運行ダイヤにすれば利便性は向上しますが、一運行あたりの利用者の減少や、運行費用が多く掛かるなどの課題もあり難しい状況です。

今後とも生徒の皆さんや、高齢者など交通手段を持たない利用者の利便性に配慮したダイヤ編成をするようにしていきます。



避難経路の整備を

問 高齢者やけが人が困難な人などを考えて、避難経路の整備をしてもらえますか。

答 防災課長 高齢者や障がい者などの要支援者の避難対策は、高台へ避難できる方は高台へ、難しい方は地区でルール作りを行い自動車での避難を検討していた

だけ予定です。

事故防止のために

問 道路にたくさんの車が駐車されているので、新しく駐車場を作る、あるいは警察の取り締まりを強化してもらえませんか。

答 環境生活課長 警察による取り締まりも行っていますが、解消するには至っていません。また、駐車場を作りたいくても、適正な場所に広い用地がなく、整備をすることは困難な状況です。

今後の解消策につきましては、警察による取り締まりの強化だけではなく、役場・区・交通安全協会をはじめ、地域住民が一体となった啓発活動や指導を行うなど、解消に向けた取組を行っていくことが大切であると考えています。



中学生議員

街灯を
増やしてほしいです

問

冬場は暗くなるのも早く、暗くなると下校時に限らず、交通事故にも遭いやすいと思うので、街灯を増やしてほしいです。

答

建設課長 街灯は、設置場所や目的などによって設置する主体が違ってきます。

国道260号は三重県の管理となっており、道路照明につきましては、県に要望や、相談させていただきたいと思います。交通事故に関しましては、皆さん十分注意していると思いますが、いくら注意していても車を運転する側の問題もありますので、反射材を身に着けるなど、事故に遭わないよう気をつけていただきたいと思います。

廃校を
使えるようにして

問

廃校になった小学校を開放して、いろいろなことに使えるようにしてほしいです。

答

教育長 現在、実現していることは、体育館を社会体育施設と



して、利用していただいているということですが、他のことについては、すぐにできること、できないことがありますので、役場のほうで検討チームを作って検討・調整をしています。なるべく早く、答えを出したいと思っています。

お年寄り
とふれあいを

問

お年寄りの方とふれあう機会があればいいと思います。

答

福祉課長 町内でも3校の小学校全てではありませんが、図書館活動などを通じて高齢者と一緒に昔あそびを



したり、本を読んだりする活動を積極的に行っています。ただ、地域においても交流の機会を作っていく必要があると思いますので、今後は地域の実情や、学校の状況などもよく聞いて、互いに無理なく継続的な交流が図られるよう考えていきます。

つぶやき

■出来ることから・・・

若い人達がこの町に住もうと思うには、この町に住んだら得をすると考えるならこの町を選ぶでしょうね。自然や環境は言うことないのだから。例えば保育料が他地域より安いとか義務教育での学校教育の質が高いとか、子供が学校などへ行っている間のパート職の求人が探しやすいとか。交通の便がもっとよくなればとか。行政、議員の方々、出来ることから実行してみてください。

(60代女性)

■新しい道に感謝です・・・

町外の施設に入所している母親の見舞いに行くのに、とても便利になりました。今までは紀勢南島トンネルまでの、細くて長い坂道が嫌で、母親のところへ行くのがなんとなく気が進まないこともありました。冷凍車や大きなワンボックスカーと対向するのが本当に怖かったです。その施設で働いている南島の人も、本当に楽になったって喜んでいます。今では買い物も伊勢まで行かずに、近くの長島ですませることができるので気楽です。

(60代女性)

■最近この町も何かがおかしい

ひと昔前は五ヶ所小学校だけで700人、中学校で400人はいた。今より所得は低く、子供の時はお菓子など正月に食べるだけ、普段は自給自足でサクランボ・グミ・やまもも・さつまいもを溶かした物を食べていた記憶がある。今の社会の方がずっと子育てもしやすい、家庭にはテレビに冷暖房器具、何でもある。なのに、なぜ人口が減り子供たちが激減しているのか、教育・医療・福祉、すべて根本から考え直し次の世代へしっかりとバトンを渡してほしい！

(60代男性)

あなたも つぶやきませんか？

どんなことでも大丈夫です
(^^) /

みんなでつぶやきましょう。

思ったこと、感じてることを
200字程度でつぶやいて下さい。

※ハガキがFAXで送って下さいね。

〒516-0194

南伊勢町五ヶ所浦3057

議会事務局 宛

FAX 0599-66-2164

みんなの

■町民の希望

なぜ、今。ふたたび原発を稼働しようとしているのか私は理解できない。福島で事故でどれだけの人々が苦しんでいるのかわからないのか不思議。人が生きていくうえで、何がほんとうに必要なのか、町長や議会のみなさん真剣に考えてほしい。今のこの町を作ったのも過去のみなさん、これからの町を作るのもみなさんです。私たち町民は行政で決められた事にただついていくだけ。だから責任を感じ住みよい町をつくってほしい。

(70代男性)

■輝くまちに

南伊勢町も過疎化の町へ急降下状態です。これも世の流れか。だからといって町民は町議会の方へ責任を丸投げにして、高見の見物状態では町の活性化はとても無理。町民の努力で元気になった町もたくさんあります。海あり、山ありの豊かな地形に恵まれた町です。町民一人ひとりが自分たちの町を良くする知恵を出し合い、町長・議員の皆さんと力を合わせて過疎化を食い止め、明るく住み良いまちづくりをしませんか。

(60代女性)

■お彼岸で里帰り(^^)!

4年振りに子どもを連れて地元に戻ってきました。出産や育児、父親の長期入院なんかで、実家に帰れなかったのが家の周りも空き家ができている、顔見知りのおばあさんなんかも施設に行ったり、おじいさんも亡くなっていました。まだ両親がいるけど、10年後を考えると心配です。

高速道路も近くて新しい道も開通して、西中の跡地に保育園もつくっていて、学生の頃と比べると良くなっていることが嬉しいです。

(30代女性)



みんなでやっとならで～

町内のがんばっている人を紹介します！

F.C 南島



設立 平成26年5月

団員数 22名

私たちF.C南島は、昨年発足したばかりのできたてホヤホヤのチームです。保育園年長から中学生までの幅広い年齢層で、毎週金曜日19時～21時までの間、南島中学校のグラウンドで練習に励んでいます。

「サッカーが好き」「もっとサッカーがやりたい」「もっと上手になりたい」という子どもたち

の声をきっかけに、いろいろ試行錯誤しながら現在に至っています。

初めの頃は、夜に友だちとサッカーができるという嬉しさと興奮から、コーチの話を聞くことさえできなかった状態でした。しかし、今ではドリブル・パス・シュートなどの基礎練習ができるようになり、他のチームとの試合ができることを新たな目標として頑張っています。子どもたちには、「サッカーが好き」という気持ちを大切に、楽しみながら練習を重ね、努力すること、自信を持つこと、そして、チームワークの重要性を学んでもらって、スポーツマンとして、人としての礼儀を身につけて欲しいと願っています。

この5月で創立1周年を迎えます。未熟なチームですが、これからこの南伊勢町で、自分たちのカラーを創り上げて一歩一歩前に進んでいきたいと思っていますので、応援宜しくお願いします。サッカー大好きなお友だちも募集しています。気軽に練習を見に来て下さい。

募

集

議会だよりでは町のがんばり屋さんを募集しています。自薦他薦は問いません。

※下記の議会事務局まで

議会を傍聴しませんか

6月定例会が開催されます。
開催は**6月16日～6月19日**の予定です。
ぜひ傍聴してください。
(当日、総務課で受付をしてください)



長年在職の功労者に 表彰授与

町村議会議員として長年在職し、功労のあった議員が、全国町村議会議長会より表彰されました。

- 27年表彰(議員) 山本周也議員
- 15年表彰(議員) 上村久仁議員

編集後記

満開の桜の下で始まった新年度も一か月が経ちました。役場も、副町長をはじめ、新たなメンバーを加えてのスタートとなりました。今年は、当町が誕生してから10周年です。この機会に過去を振り返り、先輩方のこれまでの努力に思いをめぐらせながら、これからも私たち議会は、より良い町づくりを目指し続けます。

議会広報特別委員会

委員長 田中喜一郎
副委員長 掛橋靖
委員 東伊久雄
河村健志
倉田育

議長 上村久仁

議会だよりについて
のお問い合わせなどは、
議会事務局までご連絡
ください。
☎ 0599-661781
FAX 0599-662164